

1. 科目名 (単位数)	社会調査法 (2単位)	3. 科目番号	SSMP2107 SNMP2307 SCMP2307 SBMP2107 PSMP2407
2. 授業担当教員	藤本 啓寛		
4. 授業形態	講義、小テスト、ディスカッション、調査方法に関する実習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>本講義は国が定める社会福祉士および精神保健福祉士の養成カリキュラムにおける「社会福祉調査の基礎」(旧カリキュラムでは「社会調査の基礎」)に対応するものである。本講義では、社会調査および社会福祉調査の基礎的事項を学習するが、社会福祉調査は社会福祉領域での社会調査のことであるため、本講義の内容の多くの部分は社会調査に関するものとなる。</p> <p>社会調査の目的は、社会事象について現地調査を行い、データを収集して、調査結果から一般的な規則性を見出し、必要に応じて取るべき行動を定めようとするものである。現在、社会福祉など専門分野では、人々のニーズの把握や解決策を量的調査や質的調査に基づいて提案するなど科学的エビデンスが求められている。本講義を受講することにより、社会調査の重要性、世の中に氾濫する社会調査の真実や問題点、社会福祉領域における社会調査の活用法について把握することが可能となる。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.社会調査・社会福祉調査の意義と目的について理解し、説明できるようになる。 2.社会調査と社会福祉の歴史的関係について理解し、説明できるようになる。 3.社会調査・社会福祉調査における倫理や個人情報保護の留意点について理解し、説明できるようになる。 4.量的調査と質的調査の方法および調査の結果について適切に理解し、説明できるようになる。 5.仮説設定→質問項目作成→現地調査→データ分析→分析結果の発表という調査の流れについて見通しを持てるようになる。 6.ソーシャルワークにおける評価の意義と方法について理解し、説明できるようになる。 7.社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験に必要な基礎知識について説明できるようになる(受験予定学生の場合)。 		
9. アサシメント(宿題)及びレポート課題	<p>各回の授業のスタイルに合わせて、事前学習ならびに事後学習を課す。なお期末試験は実施しない。 ※全回共通：(事前学習)授業に関するアンケートへの回答(10分程度) 受講者の関心や前提知識等について授業の進度や教材を調整するため、定められた期限までに指定のURLからアンケートに回答すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.講義回(第1・2・3・14・15回の5回) <ul style="list-style-type: none"> ・(事前学習)授業に向けての教科書の音読・精読、内容の理解(110分程度) 各回の授業内容に該当する章・節を音読・精読し、内容を理解しておくこと。これと授業内容を元に各回で理解度確認テストを実施し、その評点を「小テストの評価基準 40%」に組み入れる。 ・(事後学習)レポートの提出(90分程度) 授業中に行うワーク&ディスカッションをふまえて、各回の授業後に定められた期限までにレポートを提出すること。その評点を「レポート・課題提出と発表 30%」の評価の一部に組み入れる。 ・(事後学習)共有レポートの精読(30分程度) 次回授業までに共有する受講者が提出したレポートを全て精読し、授業内容について理解を深めること。 2.演習回(第4・5・6・7・8・10・11・12回の8回) <ul style="list-style-type: none"> ・(事前学習)授業に向けての教科書の音読・精読、内容の理解(110分程度) 各回の授業内容に該当する章・節を音読・精読し、内容を理解しておくこと。これと授業内容を元に各回で理解度確認テストを実施し、その評点を「小テストの評価基準 40%」に組み入れる。 ・(事後学習)演習課題の仕上げ・提出(120分程度) 授業中に行う演習をふまえて、各回の授業後に定められた期限までに演習課題を仕上げ、提出すること。その評点を「レポート・課題提出と発表 30%」の評価の一部に組み入れる。 3.プレゼンテーション回(第9・13回の2回) <ul style="list-style-type: none"> ・(事前学習)プレゼンテーションの準備(110分程度) プレゼンテーションに備え、グループごとに発表資料の用意と発表のリハーサルを行うなど、万全の準備をしておくこと。 ・(事後学習)相互評価表の記入と提出(120分程度) プレゼンテーションの相互評価表を記入し、指定の方法で提出すること。 		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 橋本有理子編著『最新・はじめて学ぶ社会福祉 5 社会福祉調査の基礎』ミネルヴァ書房、2021。 *授業中に適宜資料を配布する。</p> <p>【参考書】 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編『最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 5 社会福祉調査の基礎』中央法規出版、2021。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.社会調査・社会福祉調査の意義と目的について理解し、説明できるようになったか。 2.社会調査と社会福祉の歴史的関係について理解し、説明できるようになったか。 3.社会調査・社会福祉調査における倫理や個人情報保護の留意点について理解し、説明できるようになったか。 4.量的調査と質的調査の方法および調査の結果について適切に理解し、説明できるようになったか。 5.仮説設定→質問項目作成→現地調査→データ分析→分析結果の発表という調査の流れについて見通しを持てるようになったか。 		

	<p>6. ソーシャルワークにおける評価の意義と方法について理解し、説明できるようになったか。 ○評価の方法 小テスト 40% 授業の態度や内容の把握など 30% レポート、調査方法に関する実習 30%</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>①「9. アサイメント(宿題)及びレポート課題」で述べたように、本授業では120分程度の事前学習ならびに120分程度の事後学習(計240分)を前提とし、講義内では理解度確認テストやワーク&ディスカッション、演習を多く取り入れたアクティブ・ラーニングの授業方法を積極的に取り入れている。したがって受講する学生は授業時間(90分)とは別に事前学習・事後学習の時間(計240分)を確保し、授業中に加えて授業前・後も積極的に学習する姿勢を求める。</p> <p>②「11. 成績評価の規準と評価の方法」で述べたように、本授業の評価においては事前学習ならびに授業を通じて内容を理解しているかを問う「小テストの評価基準」を最も高く評価する(40%)。ただし、単に理解しているかどうかには止まらず、授業への積極的な参加を「授業の態度や内容の把握など」(30%)として、授業の成果物としてのレポートや演習課題の提出状況や、発表の質を「レポート・課題提出と発表」(30%)として評価することを含めて、日々の授業への継続的な取り組みを総合的に評価する。したがって正当な理由なく授業へ遅刻・早退・欠席することは原則として認めず、学期中は授業への出席を第一に優先することを求める。</p> <p>③新型コロナウイルス感染症拡大予防に伴い、対面・遠隔の併用授業を行う可能性がある。遠隔で参加した場合、学生同士で交流することが難しくなり、学習のモチベーションが下がる傾向がある。本授業では、受講者が教員と受講者同士でのやりとりを活発化させる様々な工夫を行う予定である。未曾有の事態ではあるが、受講者の皆さんが「8. 学習目標」に定めた7つの事項が達成できるよう全力を尽くして授業を行う。</p>		
13. オフィスアワー	授業中に通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション&社会福祉調査を学ぶ意義、その歴史・統計法	事前学習	①本シラバスに目を通しておくこと。 ②教科書第1・2・3章を音読・精読し、内容を理解し、授業中に実施される理解度確認テストに備えておくこと。
		事後学習	①定められた期限までにレポートを提出すること。 ②共有レポートを全て精読すること。
第2回	社会福祉調査の倫理と個人情報保護	事前学習	①定められた期限までに指定のURLからアンケートに回答すること。 ②教科書第4章を音読・精読し、内容を理解し、授業中に実施される理解度確認テストに備えておくこと。
		事後学習	①定められた期限までにレポートを提出すること。 ②共有レポートを全て精読すること。
第3回	社会福祉調査のデザイン	事前学習	①定められた期限までに指定のURLからアンケートに回答すること。 ②教科書第5章を音読・精読し、内容を理解し、授業中に実施される理解度確認テストに備えておくこと。
		事後学習	①定められた期限までにレポートを提出すること。 ②共有レポートを全て精読すること。
第4回	量的調査①ー量的調査の標本抽出 誰に尋ねるのか	事前学習	①定められた期限までに指定のURLからアンケートに回答すること。 ②教科書第6章・第7章を音読・精読し、内容を理解し、授業中に実施される理解度確認テストに備えておくこと。
		事後学習	①授業中に指示する演習課題を仕上げ、指定の方法で提出すること。
第5回	量的調査②ー尺度と質問の作成方法 どのように測るのか	事前学習	①定められた期限までに指定のURLからアンケートに回答すること。 ②教科書第8章を音読・精読し、内容を理解し、授業中に実施される理解度確認テストに備えておくこと。
		事後学習	①授業中に指示する演習課題を仕上げ、指定の方法で提出すること。
第6回	量的調査③ー配布・回収・データクリーニング どのように集め、整理するのか	事前学習	①定められた期限までに指定のURLからアンケートに回答すること。 ②教科書第9章を音読・精読し、内容を理解し、授業中に実施される理解度確認テストに備えておくこと。
		事後学習	①授業中に指示する演習課題を仕上げ、指定

			の方法で提出すること。 ②授業中に指示する方法で質問紙を配布し、回収すること。
第7回	量的調査④ー基本統計量 どのようにまとめるのか	事前学習	①定められた期限までに指定の URL からアンケートに回答すること。 ②教科書第10章第1節～第3節を音読・精読し、内容を理解し、授業中に実施される理解度確認テストに備えておくこと。
		事後学習	①授業中に指示する演習課題を仕上げ、指定の方法で提出すること。
第8回	量的調査⑤ークロス集計と結果の整理 何がわかるのか	事前学習	①定められた期限までに指定の URL からアンケートに回答すること。 ②教科書第10章第4節～コラムを音読・精読し、内容を理解し、授業中に実施される理解度確認テストに備えておくこと。
		事後学習	①授業中に指示する演習課題を仕上げ、指定の方法で提出すること。
第9回	量的調査⑥ー質問紙調査結果プレゼンテーション	事前学習	①定められた期限までに指定の URL からアンケートに回答すること。 ②プレゼンテーションに備え、グループごとに発表資料を用意したり発表のリハーサルを行うなど、万全の準備をしておくこと。
		事後学習	①プレゼンテーションの相互評価表を記入し、指定の方法で提出すること。
第10回	質的調査①ー質的調査の種類と特徴	事前学習	①定められた期限までに指定の URL からアンケートに回答すること。 ②教科書第11章を音読・精読し、内容を理解し、授業中に実施される理解度確認テストに備えておくこと。
		事後学習	①授業中に指示する演習課題を仕上げ、指定の方法で提出すること。 ②授業中に指示する方法でインタビュー調査を実施すること。
第11回	質的調査②ーインタビューの実施と文字起こし	事前学習	①定められた期限までに指定の URL からアンケートに回答すること。 ②教科書第12章を音読・精読し、内容を理解し、授業中に実施される理解度確認テストに備えておくこと。
		事後学習	①授業中に指示する演習課題を仕上げ、指定の方法で提出すること。
第12回	質的調査③ー分析の実際	事前学習	①定められた期限までに指定の URL からアンケートに回答すること。 ②教科書第13章を音読・精読し、内容を理解し、授業中に実施される理解度確認テストに備えておくこと。
		事後学習	①授業中に指示する演習課題を仕上げ、指定の方法で提出すること。
第13回	質的調査④ーインタビュー調査結果プレゼンテーション	事前学習	①定められた期限までに指定の URL からアンケートに回答すること。 ②プレゼンテーションに備え、グループごとに発表資料の用意と発表のリハーサルを行うなど、万全の準備をしておくこと。
		事後学習	①授業中に指示する演習課題を仕上げ、指定の方法で提出すること。
第14回	ソーシャルワークにおける評価①	事前学習	①定められた期限までに指定の URL からアンケートに回答すること。 ②教科書第14章を音読・精読し、内容を理解し、授業中に実施される理解度確認テストに備えておくこと。
		事後学習	①定められた期限までにレポートを提出すること。 ②共有レポートを全て精読すること。
第15回	ソーシャルワークにおける評価②&授業のまとめ	事前学習	①定められた期限までに指定の URL からアンケートに回答すること。 ②教科書第15章を音読・精読し、内容を理解し、授業中に実施される理解度確認テストに備えておくこと。

		事後学習	①定められた期限までにレポートを提出すること。 ②共有レポートを全て精読すること。
--	--	------	--